

平成26年4月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

ってくる。指導主事も宇土の場合、言語活動という言葉が一人歩きしているという懸念を感じられているのか。

指導主事 言葉は残した方がよいと思うが、協調するためにも教科等の目標達成することが第1の目的です。目的達成の手段として、ぜひ取り入れていきたい。もちろん思考力、判断力、表現力を達成させる手段である。それについては検討させていただきたい。

岩村委員 入れない場合でも、そこを徹底していただきたい。あと、道徳の授業公開の推進について、道徳の授業の充実。先生たちも道徳授業の充実。学校で指導の先生が、特に指導しているので、その授業の充実という文言を入れてはどうか。そして公開していくという。方向でいけば教育委員会もそういうことで入っていますよということで、授業の充実を図ってくださいということで、去年も道徳の授業を充実させようということで取組まれてきたので、入れていただければと思います。

指導主事 案ですけど、道徳の授業の充実と、授業公開の推進ということで、それならば、いいです。タイトルですが、宇土市学校教育努力目標になっているが、努力目標でいいのかと思う。年度の学校教育目標ではないのか。ほかのも、全部努力目標になっている。目標があって、下に、具体的な重点努力事項とか。そのようなものが来ると思う。

岩村委員 案ですけど、道徳の授業の充実と、授業公開の推進ということで、それならば、いいです。タイトルですが、宇土市学校教育努力目標になっているが、努力目標でいいのかと思う。年度の学校教育目標ではないのか。ほかのも、全部努力目標になっている。目標があって、下に、具体的な重点努力事項とか。そのようなものが来ると思う。

伊豫委員長 教育委員会では、このあたりどのように考えているのか。

岩村委員 努力とすると、達成するまでという感覚がある。目標達成するために努力事項は、こういうものですよ。というところを取り組んでいくんですよと思ったものですから。それと合わせて、ここにはリード分があるが、努力事項となっているものと。様式がいろいろある。今年度難しいなら来年度から様式を統一していただければと思います。

木村委員 健康教育の充実のところで「運動部活動指導の指針」を活用した適正で魅力ある運動部活動の推進というところで、社会体育に移行していくということであるが、ここは前のままになっている。

指導主事 県の方針はかえていない。県から正式に変えるという通知はまだない。今年あえて帰るとおかしくなる。今のところは、宇土市の指針を生かして、部活動を運営していく。

木村委員 県からそのような話があるのではないのか。

指導主事 30年度を目途に、部活動は廃止すると、県は打ち出している。主要なメンバーを集めてからの説明会はまだない。県も体育保健課が、各市町の教育長をまわられ、4～6月にかけて説明をされるとのことである。市町では、それから考えるということになる。具体的には27年度になる。

伊豫委員長 運動部活動指針のことですが、活用というのはちょっと弱いので

